



酒々井町立図書館通信 第20号

SHISUI LIBRARY ETC.

発行：酒々井町立図書館 〒285-0922 酒々井町中央台 3-4-1 Tel 043-496-8682

URL <http://www.tosyokan.shisui.chiba.jp>



安心して図書館をご利用いただけるよう、感染対策を徹底し、皆様のお越しをお待ちしています。

電子書籍サービスのご紹介

いつでも

どこでも

24時間

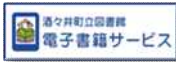
インターネットに接続できるパソコン・スマートフォン等があれば、いつでも、どこでも、24時間、書籍の貸出・返却ができる電子書籍サービスを始めました。利用方法はとても簡単。電子書籍ならではの便利な機能（音声読み上げや文字の拡大など）を活用して、自分のライフスタイルに合わせた読書をお楽しみください。

利用するには

利用対象	酒々井町に在住・在学・在勤で、酒々井町立図書館の貸出カードをお持ちの方
利用者ID	貸出カードの9から始まる8桁の数字（ハイフンは除く）
初期パスワード	ご自身の西暦の生年月日8桁※初回ログイン後に変更してください（半角英数6～20桁まで）
貸出点数・期間	3点まで（予約も3点まで） 2週間

電子書籍サービスの利用方法

詳しい操作方法は、電子書籍サービストップページ右上の「ご利用ガイド」をご覧ください。

- ①酒々井町立図書館ホームページの「電子書籍サービス」バナー  を押すと、電子書籍サービスサイトのトップページに移動します。
- ②電子書籍サービストップページ左上に利用者IDとパスワードを入力し、ログインボタンを押します。
- ③読みたい資料が見つかったら「借りる」ボタンを押します。借りた本はマイページから読むことができます。
- ④読み終わったら「返す」ボタンを押すと返却されます。（期限を過ぎると自動的に返却されます）

電子書籍人気ランキング（2月末）

順位	タイトル	順位	タイトル
1	999ひきのきょうだいのおひっこし(うごくえほんチルビー)	4	四谷怪談(耳で聴く本 オーディオブック)
1	ラーメンマニア	4	小説はたらく細胞(Kodansha K★Kbunko)
3	47都道府県・温泉百科 電子書籍版	4	幸運と不運の心理学 電子版
4	#カフェ部	4	流星ワゴン
4	おもしろ植物図鑑 電子書籍版	4	漫画君たちはどう生きるか
4	スピード思考術 電子版	4	痩せグセの法則 改訂版
4	バースデーカラー入門	4	発酵食、豆、雑穀で作る毎日のごちそう 電子書籍版
4	マンガでわかる宇宙のふしぎ 電子書籍版	16	10代のための疲れた心がラクになる本 電子書籍版



追悼：石原慎太郎さん・西村賢太さん

2月のはじめに相次いで芥川賞作家の訃報が報じられました。謹んでご冥福をお祈りするとともに近年の作品を紹介します。

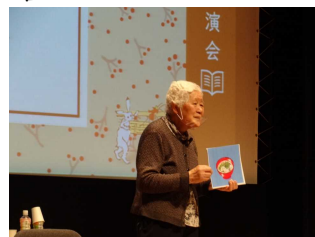
<p>「フォアビート・ノスタルジー」(913.6イ) 石原慎太郎／著 文藝春秋 2015.8</p> <p>通夜に集まった昔の仲間たち。かつて誰もが恋した美しきチェリストとの再会が、男たちの運命を変えていく。</p>		<p>「芝公園六角堂跡」(913.6ニ) 西村賢太／著 文藝春秋 2017.3</p> <p>厳冬の深夜、師・藤澤清造の終焉地に佇む北町貫多。何の為に私小説を書くのか。予定調和とは無縁の、静かなる鬼気を孕んだ作品集。</p>	
<p>「やや暴力的に」(913.6イ) 石原慎太郎／著 文藝春秋 2014.6</p> <p>危うさのない人生などあり得ない。生と死の臨界点に挑み続けてきた石原文学の結晶。表題作をはじめ、続編と併せた完全版「青木ヶ原」などを収録。</p>		<p>「蠕動で流れ、汚泥の川を」(913.6ニ) 西村賢太／著 集英社 2016.7</p> <p>貫多は、はじめての飲食店でのアルバイトにひそかな期待を抱えていた。日払いから月払いへ、そしてまっとうな生活へと己を変えて、ついでに恋人も…。貫多17歳の生きるための行状記。</p>	
<p>「宿命(リベンジ)」(913.6イ) 石原慎太郎／著 幻冬舎 2021.10</p> <p>俺達は大事な約束を忘れていたような。刑罰では拭い切れない加害者への憎しみ。検事の兄とヤクザ上がりの沖仲仕の弟が選んだのは"仇討"だった。</p>		<p>「無銭横町」(913.6ニ) 西村賢太／著 文藝春秋 2015.2</p> <p>古書店に通い詰める若き日の貫多。田中栄光の初版本や手紙を購うため、日雇い仕事に精を出す。花冷えの夜道を歩いてひとときの幻影を追い、原稿用紙の束を前に呻吟する…。</p>	

🏠 図書館イベントについて(報告)

◆令和3年度図書館講演会 藤田浩子さん語りの世界 ～「かたれやまんば」より～

令和4年2月26日(土) 午後2時～3時30分 プリミエール酒々井文化ホール 参加者:84名

藤田さんは7歳で東京から福島県三春町に疎開しました。隣の畑の小父さんからたくさんの昔話を聞いたそうです。小父さん、また大人になってから遠藤登志子さん、そのほかにもたくさんのしあわせな出会いを通じて、昔話をたくさんため込むことができた藤田さんは、語りを「しあわせのお裾分け」だと話しています。(「かたれやまんば 第2集より」)参加者全員でのあやとり遊びや、おなじみの小道具を使ったおはなし遊びもしていただき、笑顔が絶えない楽しい時間を過ごしました。参加者からの「孫に読み聞かせをしている途中、いつも眠くなってしまいますがどうしたらいいですか。」という質問に対して「一緒に寝てしまえばいいんです。」とおっしゃる藤田さん。長年にわたる保育者としての豊かなご経験はもちろんですが、こまかいことにこだわらないおおらかで、相手の言葉や思いを大切にされる藤田さんの人柄とぬくもりを感じる回答でした。短い時間でしたが、コロナ禍の中で、少しでも多くの方に「しあわせのお裾分け」ができたのではないかと思います。



■は休館日

令和4年(2022)4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

令和4年(2022)5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

令和4年(2022)6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

